

**米子市** <sup>おだか しろ あと</sup> **尾高城跡** 市史跡

大山からのびる丘陵の先端に築かれた城です。毛利氏、尼子氏の両氏によってこの城をめぐる争奪戦がいく度も行われました。

**交通**

JR米子駅から日交バス観光道路経由  
大宮・大山線「尾高上」下車徒歩5分  
場所／米子市尾高



**米子市** <sup>ふくいち いせき あおき いせき</sup> **福市遺跡・青木遺跡** 国史跡

福市遺跡は、弥生時代後期から古墳時代後期にかけての竪穴住居や墳墓が多数発見されています。青木遺跡は、縄文時代終わりから中世の遺構・遺物が出土しており、弥生時代から古墳、奈良、そして中世へと一つの遺跡で各時代の集落変遷がわかる事例として注目されています。

**交通**

JR米子駅から日ノ丸バス「安養寺入口」  
下車徒歩5分  
場所／米子市福市



**米子市** <sup>なかむら かずただ ぼち</sup> **中村一忠墓地** 市史跡

米子城を完成させた人物です。慶長14年(1609)20歳の若さで病死し、中村氏の菩提寺である感應寺に葬られました。一忠には跡継ぎがなく、その後中村家は断絶となりました。

**交通**

JR米子駅から徒歩15分  
場所／米子市祇園町



**米子市** <sup>ふかだし ていえん</sup> **深田氏庭園** 国名勝

鎌倉時代当地の開拓に関わった豪族深田氏が住宅書院南側に築いた池泉鑑賞式蓬莱庭園です。石の選定や地割りに独創性があり、庭園の全体的な景観がよくまとまっています。

※見学には予約が必要。

**交通**

JR米子駅から日交バス「米子医療センター入口」下車徒歩5分  
場所／米子市車尾  
期間：4月1日～11月30日 料金：250円  
時間：8時30分～18時 電話：0859-33-3445



**米子市** <sup>ごとう けい じゅうたく</sup> **後藤家住宅** 国重要文化財

後藤家は廻船問屋を営んでいた商家です。その住居は主屋といくつかの蔵を土塀でつなぎ、江戸時代の大規模な商家の構えをよく残しています。当時、米子城下の旧加茂川沿いは、米問屋や廻船問屋などの屋敷が並び、米子港と結ぶ水上交通路として賑わっていたことを今も残る多くの土蔵群がものがたっています。

※後藤家、加茂川土蔵群ともに内部非公開。

**交通**

JR米子駅から各方面バスだんだんバス「灘町橋」下車徒歩3分  
場所／米子市内町



**米子市** <sup>おほらけ ながやま</sup> **小原家長屋門** 市有形文化財

米子城下の西町から二の丸跡の一角に移築された武家門です。米子城預かり荒尾氏の家臣であった小原家屋敷の一部です。

**交通**

JR米子駅から日ノ丸バス「久米駅」下車徒歩3分  
場所／米子市久米町



**米子市** <sup>きゅうねい ごし すいげんち</sup> **旧米子市水源地** 国登録有形文化財

米子市に上水道が開通した大正15年(1926)に建てられた旧ポンプ室は、現在水道記念館として公開されています(要予約)。

**交通**

JR米子駅から日交バス「車尾」下車徒歩5分  
場所／米子市車尾南  
時間：9時30分～16時  
電話：0859-32-6112(米子市水道局)



**米子市** <sup>よなごし りつさん いんれき しかん</sup> **米子市立山陰歴史館** 市有形文化財

城下町・商都米子の歴史を多くの資料で紹介しています。建物は市有形文化財の旧米子市庁舎です。

**交通**

JR米子駅から各方面行のバス(※松江線を除く)「米子市役所前」下車すぐ  
場所／米子市中町  
時間：9時30分～18時  
休館：火曜日、祝日の翌日  
料金：無料(特別展のみ有料)  
電話：0859-22-7161



## 米子市 米子市福市考古資料館

福市遺跡公園の入口に位置し、国史跡福市遺跡や目久美遺跡をはじめとする米子市内の出土品などを展示しています。

### 交通

JR米子駅から日ノ丸バス「安養寺入口」下車すぐ  
場所／米子市福市  
時間：9時30分～17時 料金：無料  
休館：火曜日 電話：0859-26-3784

## 米子市 米子市埋蔵文化財センター

発掘調査等で出土した遺物を中心に、米子平野周辺地域の歴史を示す展示をしています。

### 交通

JR米子駅から日ノ丸バス「安養寺入口」下車徒歩5分  
場所／米子市福市281  
時間：9時30分～17時 料金：無料  
休館：土・日曜、祝日 電話：0859-26-0455

## 米子市淀江町 向山古墳群 国史跡

淀江平野の独立丘陵上にある古墳群で、岩屋古墳、長者ヶ平古墳など8基の前方後円墳がつくられています。この南側に位置する丘陵上にも石馬谷古墳があるなど、県内でも有数の前方後円墳密集地帯となっています。

### 交通

JR淀江駅からどんぐりバス本宮の泉線「上淀白鳳の丘展示館」下車(平日のみ)  
場所／米子市淀江町福岡



## 米子市淀江町 上淀廃寺跡 国史跡

発掘調査によって出土した彩色仏教壁画で有名。南に位置した中門から入って、左に金堂、右には3棟の塔が南北に並ぶという非常に珍しい伽藍配置になっています。現在塔心礎や金堂の瓦積み基壇が復元され、白鳳時代の姿をみる事ができます。

### 交通

JR淀江駅からどんぐりバス本宮の泉線「上淀白鳳の丘展示館」下車(平日のみ)徒歩10分  
場所／米子市淀江町福岡



## 米子市淀江町 伯耆古代の丘公園

国史跡向山古墳群に隣接し、古墳や高床建物が復元されており、土器づくりや火おこしなどさまざまな古代体験ができます。

### 交通

JR淀江駅からどんぐりバス本宮の泉線「上淀白鳳の丘展示館」下車(平日のみ)徒歩10分  
場所／米子市淀江町福岡1529  
時間：9時30分～17時 料金：高校生以上200円、  
休園：毎月第2・4水曜日 小・中学生100円  
(祝祭日の場合翌日) 電話：0859-56-6817

## 米子市淀江町 上淀白鳳の丘展示館

白鳳期の古代寺院上淀廃寺の金堂内部を原寸大で復元しています。国内最古級の仏教壁画、弥生時代の絵画土器、盾持人物埴輪、石馬(レプリカ)などを展示しています。

### 交通

JR淀江駅からどんぐりバス本宮の泉線「上淀白鳳の丘展示館」下車(平日のみ)  
場所／米子市淀江町福岡1548-1  
時間：9時30分～18時 料金：大人310円、高・大学生160円  
休館：火曜日 電話：0859-56-2271

## 米子市淀江町・大山町 鳥取県立むきばんだ史跡公園(妻木晩田遺跡) 国史跡

妻木晩田遺跡は、中国地方最高峰大山の麓にある国内最大級の弥生時代集落跡です。ここには、復元建物などのほか、「弥生の森」、「発掘体験ひろば」など、古代を体験できる施設が整備されています。



### 交通

JR淀江駅からどんぐりバス本宮の泉線「妻木晩田遺跡前」下車(平日のみ)、山陰道淀江I.C.、大山I.C.から車で5分  
場所／大山町妻木1115-4  
時間：9時～17時 料金：無料  
休園：第4月曜日 電話：0859-37-4000  
(祝日の場合は翌平日)

## 境港市 海とくらしの史料館

明治時代に建てられた、旧酒蔵を改修した民俗資料館。魚のはく製を700種4000点収蔵しており、日本一の巨大マンボウに4.2mのリウグウノツカイは圧巻。版画や弓浜も展示。館内写真撮影可！主要はく製は英語・中国語・韓国語対応。



### 交通

JR境港駅より徒歩20分は丸一バス利用で8分  
場所／境港市花町8-1 電話：0859-44-2000  
時間：9時30分～17時 ホームページ <http://www.umikura.com>  
料金：一般400円・小中高100円・外国人100円  
幼児・70歳以上・障がいのある方と介助の方1名無料  
休館：火曜日・年末年始(夏休期間中は無休)

## 境港市 鳥取藩台場跡・境台場跡 国史跡

幕末、鳥取藩が築いた9ヶ所の台場のうち最大のもので、周囲に残る土塁が当時を偲ばせます。現在は、桜の名所として市民に親しまれています。

### 交通

JR境港駅より徒歩20分  
場所／境港市花町



## 境港市 面谷家住宅 国登録有形文化財

面谷家は、明治期以降、酒や醤油などの醸造業を営んだ商家です。旧道沿いに建つ主屋(明治前期)・旧砂糖蔵(明治後期)・道具蔵(明治前期)は、境港に残る数少ない近代の醸造屋の屋敷構えを伝えています。

※内部は非公開

### 交通

JR境港駅より徒歩20分  
場所／境港市花町



## 境港市 植田家住宅 国登録有形文化財

写真家・植田正治が生涯にわたって過ごした住居で、主屋(明治中期)と離れ(大正期)で構成されています。特に、道路に面した主屋は植田正治好みに改築されており、彼の美意識の一端をうかがい知ることができます。

※内部は非公開

### 交通

JR境港駅下車徒歩10分  
場所／境港市末広町



## 日吉津村 日吉津村民俗資料館

明治から昭和期の人々の生活を支えた農業、生活用具などを保存・展示しています。

※見学を希望される方は、日吉津村教育委員会へお申込みください。

場所／日吉津村日吉津9702-2

時間：9時～16時30分

電話：0859-27-5956

休館：土・日曜日、祝日

(日吉津村教育委員会)

## 大山町 大山のダイセンキャラボク純林 国特別天然記念物

大山の登山道の頂上付近にダイセンキャラボクの純林が広がっています。キャラボクの群落としては日本最大で、学術的に貴重なものです。

### 交通

大山寺から登山3時間  
場所／大山



## 大山町 大山寺・大神山神社 国重要文化財ほか

中国地方最高峰の大山は、伯耆国の中心に位置し『出雲国風土記』にも登場する古くからの信仰の山です。奈良時代に創建された大山寺に関する歴史的遺産をはじめとして、今も多くの文化財が良好に残っています。

### 大山寺旧境内(国史跡)

大山寺は大山の北面中腹に開かれた山林寺院で、地藏菩薩を本尊とし平安時代から近世初期までの長い間に営まれた堂社や僧坊の跡が広がっています。この僧坊跡等の広がりが認められる範囲が大山寺旧境内で、その一部が平成28年10月3日に国史跡に指定されました。

### 大山寺阿弥陀堂(国重要文化財)

夏山登山道入口付近にある、室町時代に建てられた大山町内最古の建造物です。堂内には、国重要文化財の阿弥陀三尊像が安置されています。

### 大神山神社奥宮(国重要文化財)

神仏習合であった大山寺において、地藏菩薩の化身である大智明権現を祀った本社。明治の廃仏毀釈の折に大神山神社奥宮と定められました。隣の下山神社とともに国の重要文化財に指定されています。

### 交通

JR米子駅から日交バス観光大山・本宮線「大山寺」下車徒歩20分  
場所／大山町大山

電話：0859-52-2158(大山寺)  
0859-52-2507(大神山神社)



大山寺阿弥陀堂



大神山神社奥宮

## 大山町 大山寺宝物館霊宝閣 国重要文化財ほか

国重要文化財銅造観世菩薩立像、鉄製厨子など、大山寺の寺宝を展示しています。

### 交通

JR米子駅から日交バス観光大山・本宮線「大山寺」下車徒歩20分  
場所／大山町大山

料金：大人300円、中学生以下200円  
電話：0859-52-2072

## 大山町 鳥取県立大山自然歴史館

大山の自然・歴史・文化を紹介しています。

### 交通

JR米子駅からバス「大山寺」下車徒歩すぐ  
場所／大山町大山43

時間：9時～17時  
料金：無料  
電話：0859-52-2327



**大山町** **大山町所子伝統的建造物群保存地区**  
国重要伝統的建造物群保存地区

大山北麓に位置する所子集落は、鎌倉時代には京都下賀茂神社の荘園だったという古い歴史をもち、江戸時代以降の古いたたずまいが残っています。集落の中心に大山への参詣道である坊領道(ぼりょうみち)が通り、道に沿って板塀や生垣を巡らせた住宅が水路や田畑と一体となって伝統的な農村景観を形成しています。



**交通**

JR大山口駅から徒歩約15分 場所/大山町所子218-2(町立武道館前)

かどわき はしゅうたく

**門脇家住宅(国重要文化財)**

所子集落のなかでひとときわ高い茅葺屋根が目をひく門脇家は、江戸時代に大庄屋を勤めた旧家です。その住宅は、伯耆特有の寄棟造で、太い梁を高く組み上げ、湯殿、雪隠と茶室は、庭園と調和した保存のよい大型民家です。主屋は明和6年(1769)に普請されたという記録が残っており、建築史の考証上大変貴重なものです。



※内部は期間限定で公開。

場所/大山町所子

ひがしかど わき けいしゅうたく

**東門脇家住宅(国登録有形文化財)**

文政元年(1818)建築の主屋のほか、敷地内に銀行業務や酒造業などの事業を行ってきたことを示す建築が残っています。

※内部非公開。

場所/大山町所子



みなみかど わき けいしゅうたく

**南門脇家住宅(県保護文化財)**

当地方における江戸時代後期の富裕農家層の住宅形式をよく伝える主屋に加え、明治末期と大正期に増築された奥座敷、裏座敷のデザインがそれぞれの時代の特徴をよく表しています。

※内部非公開。

場所/大山町所子



みかち けいしゅうたく

**美甘家住宅(国登録有形文化財)**

この住宅の主屋は文政年間(1818~1830)の建築と見られ、棟には来待石をのせ、この地方の特色を示しています。表門、旧厩、倉庫のほか、新蔵、宝蔵、土塀などが広大な敷地に付属しています。

※庭園および外観のみ公開。

場所/大山町所子



**大山町** **JR御来屋駅舎** 国登録有形文化財

明治35年(1902)山陰地方で初めて鉄道が開通し、境港から御来屋の区間を陸蒸気が走りました。JR御来屋駅では当時の駅舎が今でも使われています。なお、区間最初の旧鉄道院境駅跡についてはJR境港駅から徒歩5分の所にあり、そこには「山陰鉄道発祥の地」の碑が建っています。



**交通**

JR御来屋駅下車 場所/大山町西坪

**江府町** **江尾城跡** 町史跡

日野川を望む台地の先端部にある山城。本丸は東側に土橋を残し、堀切で丘陵部と切り離されています。発掘調査によって、瓦葺きの礎石建物があったことが判明し、とくに屋根には金箔を貼った鯉瓦を葺いていたことがわかりました。



**交通**

JR江尾駅から徒歩約10分 場所/江府町江尾

**江府町** **武庫の七色ガシ** 県天然記念物

5月は紫、6月は白、7月は赤、8月は緑、9月~翌3月は青と季節ごとに葉の色を変えることから、七色ガシと呼ばれています。北側500mの山腹に、同種と思われる「上ヶ市の七色ガシ」(町指定)があります。



**交通**

JR武庫駅から徒歩10分 場所/江府町武庫

**江府町** **旧江尾発電所本館** 国登録有形文化財

大正8年(1919)、山陰電気株式会社によって建てられ、昭和52年まで稼働していました。県内唯一の近代石造建築で、当初屋根は瓦葺きでしたが、平成12年の鳥取西部大地震後金属板に葺き替えられました。軒にはコーニスと呼ばれる壇上の装飾が施される他、窓の上部には数種類のアーチ型を使い分けるなど、西洋建築の様式が随所に取り入れられています。



**交通**

JR江尾駅から江府町営バス柿原線「美女石入口」下車徒歩5分  
場所/江府町大字久連字唐杉

## 日野町 黒坂城跡

戦国時代の山城ですが、山麓には関氏によって築かれた江戸時代の石垣があり、中世から近世にかけての城の変遷を知ることができます。

### 交通

JR黒坂駅下車、本丸まで徒歩約20分  
場所/日野町黒坂

## 日野町 都合山たたら跡

明治22~32年(1889~1899)、根雨近藤家によって操業されたたたら場跡。高殿や大鍛冶場跡など山内全体の様子がわかる貴重な遺跡です。

現地で操業時のようすをCGで体験できます。

### 交通

JR上菅駅から車で5分、さらに徒歩40分  
場所/日野町上菅



## 日野町 日野町歴史民俗資料館 国登録有形文化財

この建物は、1940年にたたら製鉄で財を成した近藤家の7代当主・寿一郎の寄付により根雨公会堂として建てられました。現在、約1,700点の民俗資料を収蔵する資料館として、その一部を常設展示しています(電話による事前予約が必要)。



### 交通

JR根雨駅から徒歩10分  
場所/日野町根雨497

時間: 10時~16時

料金: 大人200円、高校生100円  
(団体割引有)

電話: 0859-72-2107

(日野町教育委員会)

## 日野町 たたらの楽校・根雨楽舎

明治元年に完成した出店近藤の住宅兼事務所です。現在は「近藤家のたたら経営」を主テーマとして、パネル等の展示がされています(ガイド解説があります。1人につき200円)。

### 交通

JR根雨駅から徒歩5分  
場所/日野町根雨645

時間: 10時~16時

(土・日曜のみ開館)  
料金: 無料

電話: 0859-72-0249

(日野町商工会内・伯耆たたら顕彰会事務局)



## 日南町 楽楽福神社社叢 県天然記念物

自然林の少ない日野郡内で、常緑広葉樹林(照葉樹林帯)から夏緑樹林帯(ブナ帯)へと移行する中間樹林帯における一典型林とみなされる貴重なモミ林です。



### 交通

JR生山駅から町営バス大宮線「楽々福神社前」下車  
場所/日南町宮内

## 日南町 宮本家住宅(かつみや) 国登録有形文化財

大正2年(1913)に建てられた木造2階建、瓦葺きの建物です。伝統的な江戸時代の間取りを基本としながらも、背の高い2階をもつなど近代和風建築の典型的な要素も取り込んでいます。現在、体験型農家民宿として営業しています(要予約)。



### 交通

JR生山駅からバス「秋原」下車  
場所/日南町菅沢729

電話: 0859-87-0304

## 日南町 たたらの楽校・大宮楽舎

印賀鋼の一大産地であった大宮の、旧大宮小学校の建物に日本における製鉄の歴史やたたら製鉄の原理などがわかりやすく紹介されています。

### 交通

JR生山駅から町営バス大宮線「楽々福神社前」下車  
場所/日南町印賀1516

時間: 10時~16時

休館: 土・日曜日

料金: 無料

電話: 0859-87-0911

(大宮地域振興センター)